和を、話を、輪を広げる情報紙

WAO! ワオ

季刊 2025 WINTER VOL.116

いい「土」いい「笑顔」 JAあいち中央

迎春

日本デンマークと呼ばれて100年!

碧海地域の農業のみらいは!?

皆さまの“いいね!”お待ちしています

(旧Twitter)

みんなで行こう!

碧南地区農業まつり

と き：2025年1月19日(日)
9:00～15:00

ところ：JAあいち中央碧南営農センター
(碧南市港本町4-40)

お問い合わせ●組織生活部組織生活課　☎0566-73-4450

【碧南産】
ニンジン「へきなん美人」

鮮やかな紅色で、形もそろって見た目が美しいのが特長です。味もピカイチで、ニンジン独特の臭みが少なく、1～2月は特に甘みが強くなります。生でも、煮ても、焼いても良し！いつもの食卓で主役になれるニンジンです。

JA農産物ネット販売サイト

碧海(へきかい)そだち オンラインショップ 1月のオススメ!

※注文受付は、オンラインショップのみとなります。
電話やFAXでの受付はできません。

■詳細はオンラインショップの商品ページをご確認ください。

【安城産他】
安城いちご「紅ほっぺ」

甘みと酸味が強く、イチゴらしい甘酸っぱさと深い味わいを堪能できる品種です。果皮にはツヤがあり、鮮やかな紅色が特徴です。贈り物などにもご利用ください。

支店まつりのご案内 (2025年1月～3月)

ＪＡあいち中央では、支店を「くらしの拠点」と定め、この地域の「食」と「農」と「くらし」を支える協同組合としての存在価値を発揮できるよう、様々な取り組みを行っています。

開催日時	開催支店	☎(0566)	住所
3月15日(土) 9:00～13:30	刈谷南	21-4324	刈谷市小垣江町八角151

※開催日時については変更になる場合があります。事前に支店までお問い合わせください。

Present －プレゼント－

食育ソムリエが選ぶ「旬の食材セット」を6名様にプレゼント!
(応募は下記参照)

写真はイメージです

プレゼント応募要領

ホームページからご応募ください

JAあいち中央のホームページ「イベント・活動報告」内のプレゼント＆クイズのページからご応募ください。

締切／2025年1月31日(金)

※商品はJAあいち中央ファーマーズマーケットでんまぁと安城西部(安城市福釜町釜ヶ洞1-1)での受け渡し(2025年2月13日(木)／10:00～17:00)のみとなります。ご了承のうえご応募ください。当選者の発表は、商品引換券の発送をもってかえさせていただきます。

※本応募で記入いただいた個人情報は、本応募に関わる目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

営農支援室からご案内

JAあいち中央では地元農家の労力不足を補うため、職業安定法による無料職業紹介事業をおこなっています。

農作業「求人」「求職」無料職業紹介

農家の仕事をしてみたい方はお気軽にお問い合わせください

農業求人サイトはこちら↓

農家で働きたいひと募集中！ 未経験でも大丈夫

お問い合わせ●営農企画部営農企画課営農支援室 ☎0566-73-4444

WAO! 【ワオ!】VOL.116 2025年1月5日発行

いい「土」いい「笑顔」 JAあいち中央

発行／あいち中央農業協同組合
総合企画部企画課　WAO!編集係
〒446-8601　安城市御幸本町501番地1
TEL0566-73-5504　FAX0566-73-5513
https://www.jaac.or.jp/　E-mail info@jaac.or.jp

キューワン

碧海そだち

「好き」を育む

碧海地域の農畜産物“好き”を育みたい！

JAあいち中央では、碧海5市（碧南・刈谷・安城・高浜・知立）で栽培・収穫され、JAを通じて販売される農畜産物の総称を「碧海そだち」としてブランド化を図っています。
碧海地域の農業の歴史や未来に想いを馳せながら、碧海地域で育った新鮮な農畜産物「碧海そだち」を食べて“好き”になってください。

碧海地域で作られている農畜産物は、JAのここで買えます！

「私の住む地域では、いま何が作られているのかな？」「旬の野菜や果物のおいしい食べ方を知りたい」などいろんな情報を得られます。ぜひ、お立ち寄りください。

ナスカバチョ

詳しくはこちらをご覧ください！

※店舗の規模や天候などによって販売状況は異なります。

ニンジロー

農業の未来について考えよう！

日本デンマークと呼ばれて100年！
碧海地域の農業のみらいは!?

100 YEARS ANNIVERSARY 日本デンマークと呼ばれて100年

脈々とつづく碧海地域の農業

「日本デンマーク」と呼ばれるこの地域の農業を引き継いでいる方々にお話をうかがいました。

旧安城町を中心とした碧海郡（現・碧南市、刈谷市、安城市、高浜市、知立市の全域と岡崎市、豊田市、西尾市の一部）が「日本デンマーク」と呼ばれて100年。2024年度のWAO!では、この「日本デンマーク」と呼ばれる碧海地域の農業の歴史を振り返ってきました。

梨農家 野村正登さん

農業が続くために、農地は必要不可欠

「日本デンマーク」は過去のこと、というイメージが強いと思います。確かに、農地が減り、農業を続けるのが苦しい時代に入っていると思います。しかし、「日本デンマーク」の呼称が残るくらいの産地であってほしいと願っています。

身近で農業が営まれている良さを知って

行政や地域の皆さんに、農業に対する理解を深めていただけるとうれしいです。近くに農地があり、野菜や果物などが育てられているからこそ、新鮮な農産物を食べることができるのです。また、農地から季節の移ろいも感じられるので、そんな農のある風景を守っていくことも大切だと思っています。

ナシベー

後継者・新規就農者への想い

農業を続けていくためには儲けることは大事です。買ってもらえるおいしい梨を作るため、日々努力しています。
梨農家は年々減り、産地として寂しいですが、農業を続けるためには強い意志が必要だと思っているので、軽に「一緒にやりましょう！」とは言えません。農家数は減っても、強い意志を持つ仲間と団結して地域の農業を守りたいです。

イチジク農家 杉浦久恵さん

タイミングが合って始めた農業

嫁ぎ先がイチジク農家で、規模を減らそうとしていたことや自分の年齢、転職を考えていたことなどいろいろなタイミングが合って、イチジク農家に転身しました。義母から教わったり、JAの「いちじくスクール」に通ったりして、栽培方法を学んできました。

仕事としての農業の良さ

農業は忙しい時期とゆっくりできる時期の差が激しいですが、自分に合っていると思います。何より、時間に縛られず、人と接することが少なく、自分のペースでできることが農業の良い点だと思います。そして、定年がないので年齢を気にせず働けます。

今後の農業経営に対する想い

「日本デンマーク」や地域農業を受け継ぎたいなんて大きな想いを抱いているわけではありませんが、農業は続けていきたいと思っています。経営規模や栽培形態など、今後どうすると良いのか考えるようになりました。おいしいイチジクを作りたいですし、自分なりにいろいろチャレンジしていきたいと思います。

米農家 岩瀬紳吾さん

農地は集約されると思う

今も農業ができているのは、先人たちのおかげだと思いますが、年々、優良農地の面積が減り、正直、経営面では苦しい状況にあります。今後は、個人農家から地域の営農（法人等）に農地が集約されて農業が続いていくと思っています。

農産物の適正価格の設定に理解を

農産物の価格が高くなったと言われます。ただ、資材費などが高騰していますし、農業を経営していくうえで適正な価格での販売にご理解いただきたいと思います。

農業の大切さを知る大人になって

以前、小学校で児童に「農業に適した地域なのに、なぜ農地は減るのか？」と聞かれましたが、返事に困りました。学校給食や食農体験などを通して地域農業や地産地消を学び、なぜ農業は大切なのかを知った大人になってくれるとうれしいです。そして、農地が広がるこの景観を一緒に守っていきましょう。

トマピョン

タマモン

VOL.113 ～春号～

碧海地域が「日本デンマーク」と呼ばれるようになった由来とその特徴を紹介しました！

「日本デンマーク」と呼ばれる背景には「明治用水」の存在があることや、当時農業国家だったデンマークの農業と似ている点など、歴史を振り返りました。

詳しくはこちら WAO! VOL.113

イチゾー

VOL.114 ～夏号～

夏から秋にかけて旬を迎える「梨」と「イチジク」が、碧海地域で盛んに栽培されるようになった歴史や特徴を紹介しました！

農家さんに、碧海地域で「梨」と「イチジク」の栽培がどのようにして始まり、広がっていったのかなどを教えていただきました。

詳しくはこちら WAO! VOL.114

VOL.115 ～秋号～

新米シーズンに合わせて、碧海地域における稲作（お米づくり）の歴史を紹介しました！

マイマイ

農家さんに、碧海地域で稲作（お米づくり）がどのようにして広がり、変化してきたのかなどを教えていただきました。

詳しくはこちら WAO! VOL.115